

「美」を運ぶ人びと

物流博物館では、昭和20年代～50年代の物流に関する映画フィルムを収蔵していますが、これまでに約100本に及ぶ記録映像のデジタル化を完了しました。このたび、デジタル化を記念して、その中からテーマごとに作品を選び、上映会を行うこととなりました。今後は月ごとに上映作品を変え、9月まで毎月1回の上映会を開催する予定です。色彩や傷等を修復し、新たに甦った過去の映像をぜひご覧ください。



太陽の塔の顔の設置場面 「花開く日本万国博 EXPO'70」より



輸送中の美術品専用車 「国宝の旅立ち」より

2017年 **7月9日(日)**

第1回：10時30分～12時20分
第2回：13時00分～14時50分
第3回：15時00分～16時50分

※下記作品を1日3回上映します。予約は不要です。 ※参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

<上映作品> ※①②はデジタルリマスター版による上映です。

①「花ひらく日本万国博 EXPO'70」

1970年/35分/カラー/製作：電通・電通映画社/企画：日本通運(株)/
脚本・演出：鈴木一夫
内容：日本中を沸かせた一大イベント、大阪万博。建設資材や展示品の輸送など、この催しを支えたさまざまな輸送の姿を記録した作品。

高度な技に支えられた美術品輸送の記録映像に加え、大阪万博を支えた様々な輸送の姿を描いた作品もあわせて上映します。

②「国宝の旅立ち」

1980年/24分/カラー/製作：岩波映画製作所/企画：日本通運(株)/脚本・演出：神馬玄佐雄
内容：東大寺大仏殿昭和の大修理の完成を記念し各地で開かれた「東大寺展」へ、門外不出の国宝が旅立つ姿を描く。

③「夢と心を未来へ運べー受け継がれる日通美術の技ー」

2005年/30分/カラー/制作：TBS ビジョン/著作：TBS/製作：日本通運(株)
内容：高さ3メートルもの唐招提寺の国宝盧舎那仏坐像を、1200年を経て初めて寺の外へ輸送した技術の記録。

今後の開催予定

第4回 8月27日(日) テーマ：「トラックドライバー魂」
第5回 9月10日(日) テーマ：「超重量品輸送の世界」

【開館時間】 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】 毎週月曜日・毎月第4火曜日(これらが祝日・振替休日の場合開館)、祝日の翌日、年末年始、展示替等期間

【入館料】 高校生以上200円/65歳以上100円/中学生以下無料

*団体20名以上半額

